



毒 イヌサフラン ユリ科

野山では見られないが、コルチカムという名で園芸用に球根が販売されている。
 光沢のある長い葉は夏には枯れ、秋にクロッカスに似た薄紫の花が咲く。

有毒部位：全草

有毒成分：コルヒチン

中毒症状：嘔吐、腹痛、下痢、けいれん、
 呼吸のみだれ。死亡することもある。

※道内で、平成15年と平成29年に、イヌサフランの葉をギョウジャニンニクと間違えて食べて中毒死した例がある。

札幌市内では、平成25年に、ミョウガと誤認して球根を食べたことによる食中毒が発生し、平成27年に、球根を食べ死亡する食中毒が発生した。